

八尾市教育振興基本計画 後期計画 概要版

令和7年度(2025年度) >> 令和10年度(2028年度)

認め合い ^{ひら}ともに生き
未来を切り拓く
八尾の教育

yao

令和7年(2025年)3月
八尾市教育委員会

八尾の教育の現在地



いま社会で起きていること

● 人口減少や少子・高齢化、グローバル化の進展

地域での多世代による交流が希薄化し、児童生徒数も減少

社会のあらゆる分野でのつながりが、国境を越えて地球規模に拡大

● デジタルトランスフォーメーション(DX)の進展

SNSの普及により交流形態が変化し、学校ではICTを活用した学びを展開

● 新型コロナウイルス感染症の感染拡大

人と人との交流が減少し、ICTの活用により交流方法も変化

● ウェルビーイングの考え方を重視

経済的な豊かさのみならず、精神的な豊かさや健康までを含めて持続的な幸福や生きがいをつめる「ウェルビーイング」の考え方を重視

解決していくべき課題

● 課題を抱える子どもたちへの対応

いじめ・不登校やヤングケアラー、虐待などの課題を抱える子どもたちへの支援が必要

● 施設の老朽化への対応

建設後、50年を経過した学校の建物が多く、安全で快適な施設整備が急務

● 部活動の改革

少子化に伴う生徒数の減少や指導者の確保の難しさなどから、これまでと同様の部活動の継続が困難

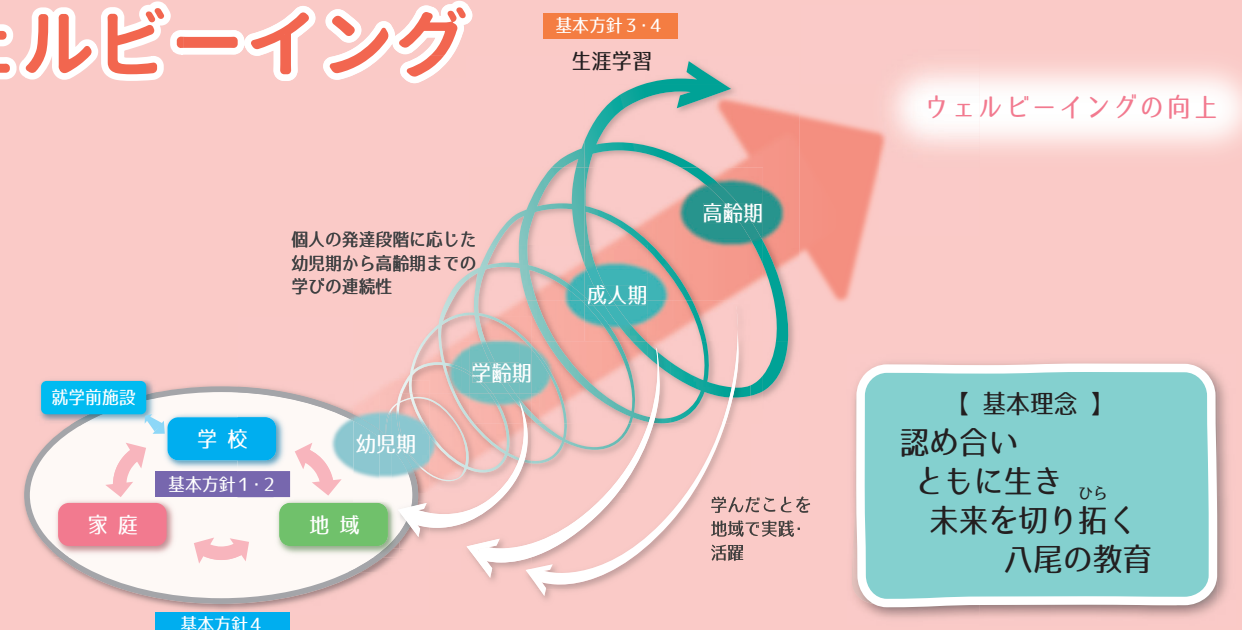
● 学校における働き方改革の推進

児童生徒が抱える課題の多様化に伴う生活指導や保護者対応の増加により、教職員の業務量が増大



八尾市がめざすウェルビーイング

- ウェルビーイングとは、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く地域や社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることをいいます。
- 八尾の教育では、市民一人ひとりが自分の可能性を信じ、夢に向かって自らの人生と、八尾の未来を切り拓いていくと同時に、個人と社会のウェルビーイングが向上していくことをめざします。
- このために、生涯にわたる教育が果たす役割は大きく、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもの最善の利益を考え、社会全体で未来を担う子どもの成長を支えていきます。
- そして、持続可能な生涯学習社会となるよう、「学びの循環」「知の循環」を促進し、学んだことを地域で実践・活躍できる環境づくりを進めていきます。



基本理念

認め合いとともに生き未来

生涯にわたって互いの人権や個性を尊重し認め合い、また、すべての人がともに学び、自他を高め、支え合って生きていく力をさらに育んでいくことにより、“一人ひとりが自分の可能性を信じ、夢に向かって自らの人生と、八尾の未来を切り拓いてほしい”という思いが込められています。

基本方針1

夢に向かってチャレンジし、未来を切り拓く力を育成します

- 教育を取り巻く環境の変化に対応し、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の担い手となることのできる力を育みます。

4年間で取り組んでいくこと

1-1 幼児教育の充実

- 幼児教育の研究・研修の充実
- 小学校への円滑な接続
- 市全体での子育て事業の充実

1-2 確かな学力の育成

- 指導と評価の一体化の推進
- 言語活動の充実
- 情報活用能力の育成
- 小中一貫教育の推進

1-3 豊かな心の育成

- 自己肯定感・自己有用感の向上
- 読書活動の推進
- 命を育む教育の推進
- 青少年健全育成の推進
- 部活動改革の推進

1-4 健やかな体の育成

- 体力向上の取り組みの推進
- 安心・安全な学校給食の提供
- 保健教育・食育の充実

1-5 子どもたちの人権を守る教育の充実

- 人権教育の推進
- いじめの防止

基本方針2

学びを支えるセーフティネットを構築します

- いじめ、不登校、障がいのある子どもや日本語指導が必要な子どもなど、多様な教育ニーズに対応した支援体制を充実していきます。
- すべての子どもが共に学べる教育を推進し、家庭の状況に関係なく学べる機会を確保できるように支援します。

4年間で取り組んでいくこと

2-1 多様なニーズに対応した教育の推進

- インクルーシブ教育の推進
- ヤングケアラーへの対応
- 多文化共生教育の推進
- 日本語学習の場の提供

2-2 教育相談および教育支援体制の充実

- 不登校児童生徒への対応
- 相談・支援体制の充実

2-3 学びと育ちの経済的支援

- 経済的支援の実施

令和7年度(2025年度)からの4年間で取り組んでいくことが書かれているよ

を切り拓く八尾の教育

前期計画で定めた「基本理念」
「基本方針」を後期計画に引き
継いでいるんだね。

基本理念の実現に向けて、SDG s が掲げる “誰一人取り残さない”
という理念や、**ウェルビーイングの考え方**も踏まえ、4つの大きな
柱（＝基本方針）を定めています。

基本方針3



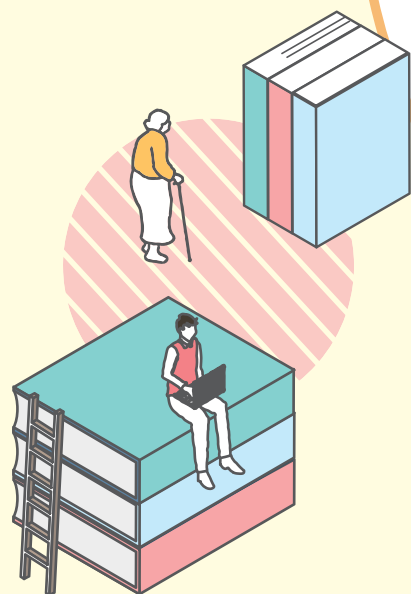
**生涯にわたって学びを重ね、
人生を豊かに生きられる環境を整えます**

- SDGsの理念である「誰一人取り残さない」という観点
に立ち、社会の変化に対応しながら、人生を豊かに生き
られる環境整備を進めます。

4年間で取り組んでいくこと

3-1 人生100年時代を見据えた生涯学習社会の実現

- 生涯学習の推進
- 青少年・若者の健全育成
- 図書館サービスの充実



基本方針4



**地域とともに、
社会の変化に応じた
教育環境をつくります**

- 教育コミュニティづくりに向けた体制を整備します。
- 一人ひとりの可能性とチャンスを最大化できるように、
教育環境を整備・充実していきます。

4年間で取り組んでいくこと

4-1 教育環境の整備・充実

- ICT教育の推進
- 給食調理環境の改善
- 学校施設整備の推進
- 学校規模等の適正化

4-2 学校における指導・運営 体制の充実と働き方改革 の推進

- 適切な進路指導の実施
- 一人ひとりのニーズに沿った教育の推進
- 学校における働き方改革の推進
- ICT活用指導力の向上
- 部活動改革の推進

4-3 児童生徒の安全確保

- 通学の安全性確保
- 学校の安全性確保

4-4 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

- 地域とともにある学校づくり
- 家庭教育の支援
- 多様な主体が協力した青少年健全育成



計画策定の趣旨

「八尾市教育振興基本計画後期計画」とは？

令和3年（2021年）3月に策定した「八尾市教育振興基本計画」は、計画期間を8年間とし、「認め合いともに生き未来を切り拓く八尾の教育」を基本理念に掲げ、さまざまな取り組みを進めてきました。

令和6年度（2024年度）で前期計画の期間が終了することから、社会情勢の変化や本市のこれまでの取り組み状況、課題等を踏まえ、令和7年度（2025年度）からの4年間における施策の方向性を示すため、「八尾市教育振興基本計画後期計画」を策定しました。

計画の対象は、幼児教育、小学校、中学校、義務教育学校の学校教育と生涯学習なんだね。



計画を進めていくために

①連携・協力の推進

- 子育てや福祉、健康、芸術文化などの各分野や学校、家庭、地域、各種団体など多様な主体と連携し、社会全体で取り組みを進めていきます。



社会全体で、未来を担う子どもの成長を支えていくんだね。



②子どもの声を尊重した施策の推進

- 子どもの意見やニーズを把握するように努め、子どもの声を尊重しながら取り組みを進めていきます。



③進行管理及び公表

- 計画を着実に進めるために、PDCAサイクルに基づく進行管理を行い、効果的かつ効率的に取り組むを進めていきます。
- 毎年、「教育委員会点検・評価報告書」を作成し、市のホームページなどを通じて市民に公表していきます。

